

# 住んでよかった 寄り添う市民福祉・適切なインフラの整備・万全な危機管理

- 新規 自宅療養者等生活支援事業 855万円**  
新型コロナウイルス感染症による自宅療養者などに対し、自宅療養ヘルプセットの提供、買物やごみ出しの代行、療養上の困りごとの確認を行います。
- 拡充 地域共生社会推進事業 79万円**  
地域共生社会の実現を目指し、重層的支援体制の構築に向けた準備を進めます。
- 拡充 感染症予防事業 2億384万円**  
予防接種の実施により、感染症による死亡率の低下や後遺症の予防および流行抑制を図ります。令和4年度は、子宮頸がん予防ワクチン接種の積極的勧奨を再開します。
- 拡充 地域公共交通事業 2億691万円**  
市内循環バスの運行や生活路線バス運行経費の補助、デマンドタクシーの利用料金の助成を実施する他、持続可能な運送サービスを確保するため、「地域公共交通計画」を策定します。
- 新規 空き家活用促進事業 200万円**  
地域交流拠点などに空き家を利活用するための改修経費を補助し、地域の活性化を図ります。
- 新ごみ処理施設整備事業 5,090万円**  
羽生市と共に一部事務組合を設立し、新ごみ処理施設の整備に必要な計画の策定や調査を実施します。
- 拡充 道路維持補修・新設改良事業 2億3,743万円**  
狭あい道路の拡幅整備や幹線道路の舗装修繕、通学路整備計画に基づく通学路の安全対策などを実施します。
- 出水対策事業 1億8,939万円**  
埼玉県の忍川浸水対策重点地域緊急事業と連携し、校庭貯留施設の整備を進めます。また、老朽化した排水機場

- の設備更新を行います。
- 新規 田んぼダム事業 782万円**  
大雨や台風などによる河川流域の洪水の軽減を図るため、水田貯留設備を整備します。
- 新規 スマート街路灯・LED街路灯整備事業 1億9,659万円**  
市道の道路照明灯を全てLED化するのに併せて、その一部を通信機能を有するスマート街路灯設備とすることで、調光リモート操作や日照データ収集などを行います。
- 新規 防災士資格取得補助事業 224万円**  
講座の開催や受験料の補助により防災士の資格取得を支援し、地域の防災力向上を目指します。
- 消防車両更新事業 5,100万円**  
計画的な消防用自動車や救急用自動車などの更新の一環として、ボート積載車と消防ポンプ自動車の更新を行います。



自宅療養ヘルプセット

# 行ってみたい 稼ぐ観光産業・賑わう都市拠点・攻めの農産業

- 行田おもてなし観光局による観光ブランディング事業 3,530万円**  
行田おもてなし観光局が行う公益事業への援助を通じて、観光地としてのブランド化を図り、稼げる観光地域づくりを推進します。
- (仮称)さきたま広場整備事業 5,500万円**  
さきたま古墳公園内に、行田おもてなし観光局と共同で、観光物産施設を含む(仮称)さきたま広場を整備します。
- 水城公園東側園地再整備事業 3,975万円**  
園内灯やベンチなどの更新整備を行い、憩い・散策・遊びの日常的な利用を誰もが安心して楽しめる環境を創出します。
- 行田はちまんマルシェ開催事業 75万円**  
市内農産物や市内事業者の販売商品が一堂に会する行田はちまんマルシェを開催し、地産地消の推進と八幡通りの賑わい創出を図ります。
- 田んぼアート米づくり体験事業 900万円**  
田んぼアートの作成により、行田産米や観光地行田をPRするとともに、農業体験を通じた交流の促進や農業への理解を醸成します。

- 攻めの農業支援事業 600万円**  
6次産業化や農園開設、スマート農業化などを実施する農業者を支援します。
- 拡充 新規就農・経営継承支援事業 533万円**  
就農や農業経営、経営発展に必要な資金の一部を助成することで、農業人材の確保と定着を図ります。
- 行田在来青大豆商品開発・販売促進事業 30万円**  
商品開発や販売促進を通じて「行田在来青大豆」のブランド化を推進します。



自動操舵システムを搭載したトラクター

# 令和4年度の主な施策と予算額

## 住んでみたい 充実の子育て支援・質の高い教育・魅力ある就労環境

- 新規 中学校給食費無償化事業 1億245万円**  
令和4年度の中学校全学年の給食費を無償化します。また、食物アレルギーにより学校給食の提供を受けられない生徒や市外の中学校に通う生徒の保護者にも無償化分に相当する補助金を交付します。  
※事業費には学校給食費の減収分を合算しています。
- 拡充 放課後児童健全育成事業 2億6,005万円**  
19カ所の学童保育室で学童保育を実施します。令和4年度は南河原学童保育室を南河原小学校へ移転します。
- 拡充 子ども医療費支給事業 2億5,605万円**  
入院・通院とともに18歳に達する日以後最初の3月31日まで医療費の助成を行います。10月からは県内全域での窓口無料化を実施します。
- 拡充 病児・病後児保育事業 1,164万円**  
保護者の就労などにより、家庭での看護が困難な病中病後の児童を預かり、保育を実施します。令和3年12月から対象児童を小学校6年生までに拡大しています。
- 新規 産後健康診査事業 195万円**  
産後うつ予防などを目的として、出産後間もない時期の産婦に対する健康診査を実施します。
- 拡充 学力向上支援事業 4,453万円**  
学力向上支援教員を配置し、担任との2人体制によるきめ細かな授業を実施します。令和4年度はフォローアップ教室(補習学習)の開催に加え、ワーク教材の無償配布により、中学校3年生の学習を支援します。
- 学校ICT活用推進事業 7,488万円**  
児童生徒1人1台の学習用端末や指導者用デジタル教科書を活用した授業を行うとともに、小中学校にICT支援員を派遣します。
- ホップ・ステップ・ジャンプ外国語教育事業 5,244万円**  
外国語活動および外国語授業に外国語指導助手(ALT)を配置し、外国語教育の充実を図ります。
- 拡充 英語検定取得支援事業 267万円**  
英語検定の対策講座や検定料の補助を実施します。令和4年度は対象を中学校全学年、4級以上の受験者に拡充します。
- 学校再編成事業 1,064万円**  
複式学級の解消に向け、学校再編成を推進します。令和4年度は太田西小と太田東小の再編成による新校開校の準備を進めます。
- いじめ・不登校対策事業 3,069万円**  
さわやか相談員の配置、「いじめそだんホットライン」の設置、学校ネットパトロールなどを実施します。
- 起業家支援事業 985万円**  
市内の空き店舗などを利用する新規起業者に、家賃および改装に要した費用の一部を助成します。



タブレット端末を活用した授業風景

## その他の施策

- 新規 学校跡地活用検討事業 700万円**  
北河原小学校および須加小学校の新たな活用策の検討のために、地域のニーズと民間事業者などの活用可能性を把握するための調査を行います。
- 新規 星宮小学校跡地活用事業 625万円**  
星宮小学校の跡地への教育支援センターと埋蔵文化財センター(一部)の移転に向け、改修工事の設計や収蔵品などの運搬を行います。
- 拡充 先端デジタル技術活用事業 376万円**  
音声認識ソフトによる会議録の作成、AI-OCRやRPAの導入により手書き申請書のデータ化やシステム入力作業の自動化を行い、業務の効率化を図ります。
- 新規 立地適正化計画策定事業 1,001万円**  
居住誘導区域や都市機能誘導区域などを定める計画を策定し、持続可能な集約・連携型のまちづくりの実現を図ります。
- 新規 総合体育館空調設備更新事業 1億6,000万円**  
総合体育館の冷暖房設備(ロビー、会議室など)を更新します。



総合体育館(行田グリーンアリーナ)